



発行：長門市 経済観光部 成長戦略推進課

第3回住民ワークショップを開催しました！

平成29年7月23日（日）午後、湯本温泉旅館協同組合会議室において、第3回住民ワークショップを開催しました。

長門湯本温泉らしさを生み出すデザインガイドラインの、骨子となる考え方について、土木景観デザイン（主に公共空間）、夜間照明、町並み、公共空間活用、もてなしの景観などのテーマについて意見交換しました。

今後、これまでの皆さんとの議論を踏まえて、規制や罰則は無いが、皆で大事にしたいことの考え方を整理した「景観ガイドライン(案)」最低限守るべきルールとして法規制も行う「景観協定(案)」、景観ガイドラインと景観協定を運営する体制の整理を進めていきます。



第3回ワークショップの様子

第3回 設計者・施工者ワークショップを開催しました！

平成29年6月24日（月）夜、長門市役所4階会議室において、第3回 設計者・施工者ワークショップを開催しました。

今回は長門湯本温泉らしい「屋根のデザイン」や「外壁のデザイン」など建物の各部要素についての議論を行いました。特に、準防火地域で外壁や軒裏に板を貼る工夫や手摺や高欄などを木質化することなどについて意見交換し、その後、これまでの議論を踏まえ作成したガイドラインの骨子（案）を紹介しました。また、リノベーション物件第一号の「cafe&pottery音」のリノベーション工事について学びました。これから設計者・施工者ワークショップでは、空き家となっている物件をモデルに、共同設計WSなどを通してリノベーション方法を学んでいきます。



金剛住機木村氏によるcafe&pottery音の紹介

いよいよ社会実験（おとずれリバーフェスタ）が始まります！

平成29年9/16～9/18、10/7～10/9の期間で、おとずれリバーフェスタが開催されます。おとずれリバーフェスタは、これから数年かけて大きく変わろうとしている長門湯本温泉を舞台に、ここに遊びに来る人、住む人、働く人が、楽しく豊かな時を過ごせるよう、未来の温泉街をイメージして体感する取り組みです。

初めての今年は、普段自由に使うことのできない川や道路などを使いこなし、よりすぐりの飲食店やワークショップ、物販など様々なワクワクする出展者のみなさまが集結しますので、是非温泉街を楽しみにきて下さい。

リバーフェスタと並行して、温泉街では常設化に向けて3つの社会実験を行っていきます。①川を楽しむ川床や置き座（テラス）の設置実験、②湯本提灯や橋などのライトアップで夜を楽しむ照明実験、③道路の一部を飲食・物販などのブースや休憩スペースに活用する空間再編実験。これらも是非体験してみてください！



おとずれリバーフェスタちらし

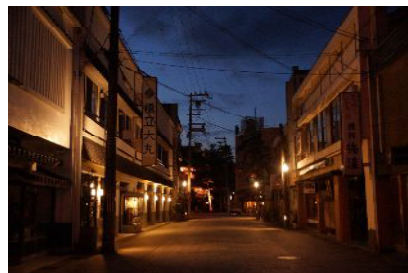
○×旗揚げゲーム 「長門湯本温泉らしい夜間景観を考えよう！」

1.長門湯本温泉らしい「光の色」

① 長門湯本温泉に電球色の光は適切？→○



白い街路灯の旅館街の例



落ち着いた電球色の旅館街の例

■ 光の色について

黄色く、暖かみのある光の色を“電球色”と呼びます。温泉街や住宅地では、寒々しい白色よりも情緒的で落ち着いた電球色が好まれます。



↑ 右が電球色です。電球交換の時には、「電球色」「2700K～3000K」と書いてあるものを選びましょう。

2.長門湯本温泉の「安全な夜間景観」

② 門灯や、軒先の提灯を夜中までつけておくことは良い？→○



建物からの漏れ光、軒先の提灯、建物ライトアップで安心感と情緒のある通りの例

点灯時間について

門灯や、軒先の提灯、道に面した窓際、お店のあかりが灯っていると夜のそぞろ歩きが楽しく、安心安全な街並みになります。光源がLEDであれば、点灯時間を長くしても電気代は僅かにしかかかりません。（7Wの電球1つあたり、1日5時間点灯して1か月の電気代は28円程度です。）

3.長門湯本温泉の「豊かな緑」を生かす

③ 樹木をライトアップすることは良い？→○



ライトアップで庭木が主役になった旅館の中庭の例

■ 樹木のライトアップ

風間は癒しを与えてくれる樹木ですが、夜は影になり暗がりをつくってしまいます。道や広場から見える庭木をライトアップすることで、安心感と心地よさをまちにもたらしめます。樹木も暖かみのある電球色の灯りで照らしましょう。

4.長門湯本温泉の「まちの顔づくり」

④ 軒先に提灯の連なる街並みは、長門湯本温泉に相應しい？→○



共通デザインの提灯の連なる京都の街並みの例

■ 提灯の設置について

共通デザインの提灯を街中の軒先につけることで、「一目で長門湯本温泉だとわかる風景」「ここでしか見れない街並み」をつくることができます。長門湯本温泉のオリジナルデザインの提灯を掲げ、情緒的な温泉街の夜景づくりを行いましょう。

社会実験 提灯設置 にお申込み頂き、ありがとうございます！！

9月16日から始まる社会実験での提灯設置に、沢山の方のお申込みを頂きました。ご協力頂きありがとうございます！

住民の方 ……17軒 お店、旅館の方……15軒
合わせて50個以上の提灯が、長門湯本温泉に灯ります！

お申込みを忘れられた方や、やっぱり提灯をつけない、という方がいらっしゃいましたら、今からでも間に合いますので下記までご連絡ください。
湯本温泉街みらい検討会議 TEL25-3611または市長戦略推進課 TEL23-1234



○×旗揚げゲーム 「建物の各部要素についての長門湯本温泉らしさを考えよう！」

1.長門湯本温泉らしい「サイン」

① 湯本温泉にポールサインは適切？→×



ポールサインの例

② 湯本温泉に建植サインは適切？→×



建植サインの例

大きな看板について

サインや看板には様々な種類がありますが、車のスピードでも視認できるような大きな看板（ポールサイン・建植サイン・壁面広告・屋上広告・看板建築等）は町並みを乱します。

③ 平置看板や袖看板、壁面サインは良い？→○



平置看板の例

人が歩いて視認できるようなサインは、控え目な看板（壁面看板・袖看板・平置き看板・突き出し看板・スタンド看板など）でも構いません。しかし、視認する時間が長くなるため細部にこだわったデザインが重要です。

④ 店先ののれんなどは良い？→○



のれんの例

⑤ テント看板は良い？→×



■看板・サインについて

看板を設置する場合は、町並みを乱さないよう、控え目な看板とし、設置箇所は極力最小限にしましょう。また、看板は長門湯本温泉らしい演出やデザインがされたおしゃれな看板にしましょう。

サインについては、山口県の屋外広告物の基準を参考に、景観法に基づく景観協定とすべく、より詳細なルールを検討します。

⑥ ファサードサインや電飾看板は良い？→×



ファサードサインと電飾看板の例

⑦ ネオン看板は良い？→△



夜間のサインについて

夜間も看板が読めるように看板をライトアップすることは問題ありませんが、電飾看板などは避けましょう。既存のネオン看板は地域文脈の継承の観点から再利用することが考えられますが、新たにネオン看板を増設するのは避けましょう。

2.長門湯本温泉の「防犯と景観」

⑧ 鍍戸シャッターは良い？→×



鍍戸シャッターの例

鍍戸シャッターについて

「シャッター通り商店街」という言葉に代表されるように、鍍戸シャッターは寂れた町や閉鎖的な町という印象を与えます。

⑨ 格子による防犯は良い？→○



長門湯本温泉の格子の例

⑩ 木製建具などで休日や夜間も店舗内部が見えるのは良い？→○



■シャッターや雨戸等について

防犯対策として、開口部への木製格子の設置、雨戸の活用、セキュリティサービスの活用等、防犯と景観の両立を目指しましょう。夜もそぞろ歩きのできる温泉街を目指すため鍍戸シャッターは極力避けましょう。

3.長門湯本温泉の「駐車場と景観」

⑪ 納屋の1階を駐車場にするのは良い？→○



⑫ 板張りの車庫は良い？→○



長門湯本温泉の車庫の例

車庫について

納屋と一体になった車庫や板張りの車庫など、町並みに配慮している例も多くみられます。車庫も住まいや商店と同様に町並みを構成する大切な要素です。外壁は板張りを推奨しましょう。

⑬ 露出した駐車場は良い？→×



⑭ 生け垣の目隠しは良い？→○



⑮ 住宅の前の駐車場は良い？→×



⑯ 駐車場を露出しない配慮は良い？→○



■町並みに露出した駐車場について

駐車場や駐車している車は、町並みの連続感を損ない、風景に馴染みにくい要素です。そのため極力駐車場や駐車している車が露出ないように配慮することが大切です。

車庫の外壁は板張りを推奨し、屋根は色彩に配慮しましょう。開口部には木製扉や格子戸を設置し、内部が見えないように配慮しましょう。やむをえず、シャッターとする場合は濃茶などの色彩としましょう。

⑰ 通りに露出した旅館の駐車場は良い？→×



⑱ 植栽や庭で駐車場を隠すのは良い？→○



旅館の駐車場について

旅館は比較的大規模な駐車場が必要ですが、駐車場を目立たない場所に設置する、生垣や板塀で隠す、駐車場に樹木を植えるなど、駐車場のデザインに配慮しましょう。

4.長門湯本温泉らしい「沿道のしつらえ」

⑲ 塀や門の構えは湯本らしい？→○



⑳ 板塀と前庭のしつらえは湯本らしい？→○



湯本地区らしい沿道の設えについて

湯本地区の音信川沿いの建物は、商店等は通りに連続することで、旅館や住宅は板塀や石塀、門、前庭等を設置することで連続性のある町並みを形成しています。

㉑ 前庭と塀垣の連続は門前らしい？→○



門前地区らしい沿道の設えについて

門前地区は石塀とその背後にある前庭が生み出す町並みが特徴的です。

㉒ 生け垣、庭園は三ノ瀬らしい？→○



三ノ瀬地区らしい沿道の設えについて

三ノ瀬地区は石積みや生垣、門、美しい庭園などが生み出す豊かな町並みが特徴です。

■沿道のしつらえについて

湯本地区、門前地区、三ノ瀬地区のそれぞれの地区の町並みの異なる魅力を生み出すのが塀垣、門、石積擁壁、前庭の構成です。各地区の魅力や特徴を維持・継承していきましょう。

㉓ ブロック塀による沿道の構えは良い？→×



ブロック塀は風情に欠ける。塀や垣根のデザインは、圧迫感を与えない高さとし、背後の緑を感じられることが大切です。板塀のデザインも背後の庭が隙間から垣間見られる状況を生み出すことが豊かさに繋がります。

㉔ 金網フェンスによる沿道の構えは良い？→×



駐車場や空き地等によって、町並みの連続性が途切れている個所には、積極的に塀垣を設置し、町並みの連続性を再生しましょう。新たに設置する際は、金網フェンスやブロック塀は避けましょう。

5.長門湯本温泉らしい「付属屋」

㉕ このような付属屋は相応しい？→×



付属屋について

長門湯本温泉には、土蔵、物置、登り窯、水車小屋、車庫等様々な付属屋があります。対象地区の約半数を占めるのが住宅や店舗ですが、それに次いで多いのが付属屋で約3割に上ります。住宅や店舗などと同様に付属屋も町並みに与える影響が大きく、修景することによる効果も高い要素です。



美しい水車小屋



薪が積まれた付属屋

特に三ノ瀬地区では、水車小屋や土蔵、登り窯、物置など様々な付属屋があり、景観に与える影響が大きいです。また、萩焼に用いる薪が積まれた景観はとても魅力的で、地区の重要な景観要素となっています。

■付属屋について

付属屋の外壁は板張りを推奨しましょう。やむをえず、その他の素材を採用する場合は濃茶や黒、グレーなどの目立たない色彩としましょう。屋根は色彩に配慮しましょう。

※写真は個人宅を評価するものでなく、あくまでイメージとしての掲載です。